

## マニュアル (No.05)

### ◆ 線と線の間幅を同じにする ◆

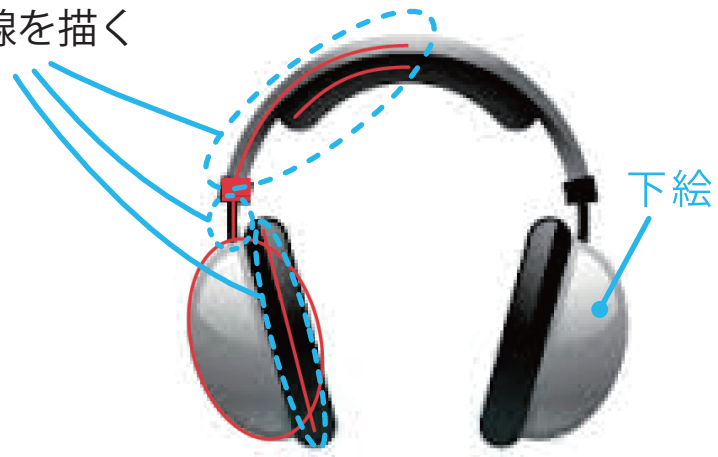
< Ver.1.2 >

<練習ファイル>

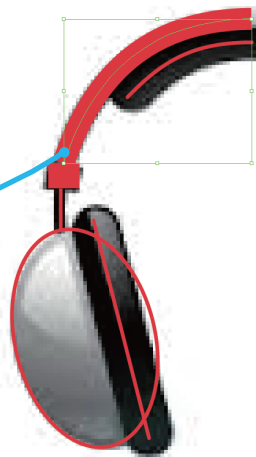
線と線の間幅を同じにする .ai

## ◆ 線と線の間の幅を同じにする ◆

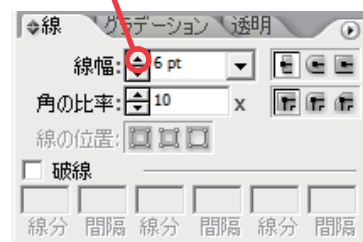
- ①まず、半分だけ、太さ1ptで  
下絵の中心に赤い線を描く



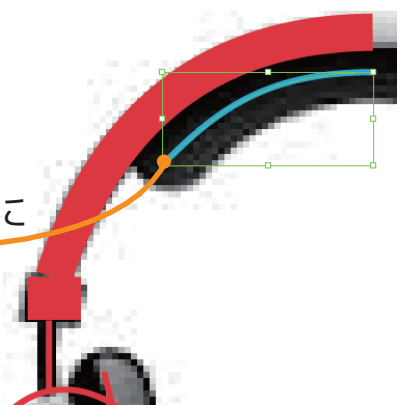
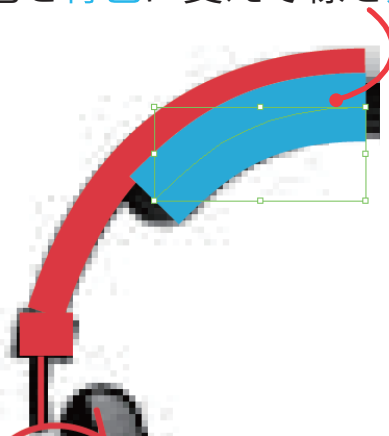
- ②ダイレクト選択ツール (⌘) を  
選んでから線の太さを  
太くしていき、  
ちょうどいい  
太さにする



線パレット (ウィンドウ→線) の  
この上矢印を押すと太く出来る

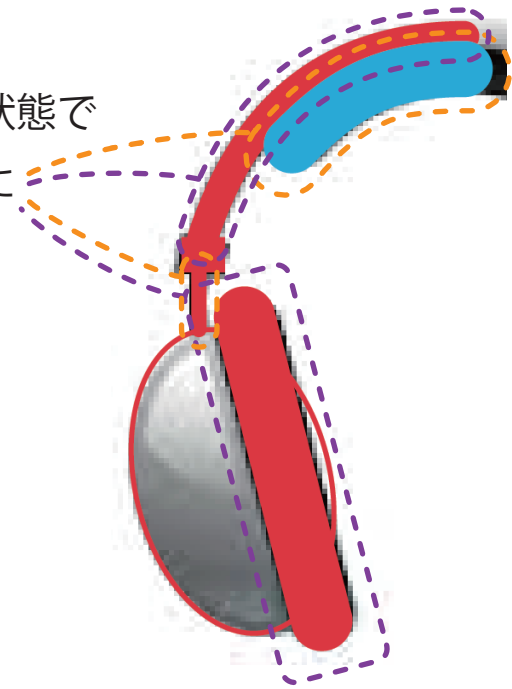
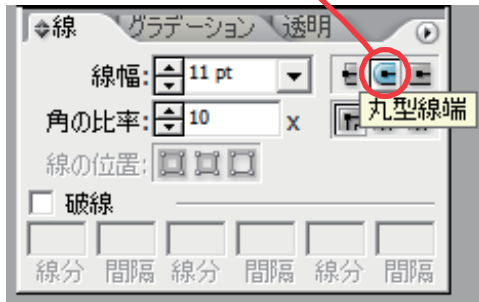


赤色のオブジェクトと見分けがつくように  
この線は色を青色に変えて線を太くする



◆ 線と線の間の幅を同じにする ◆

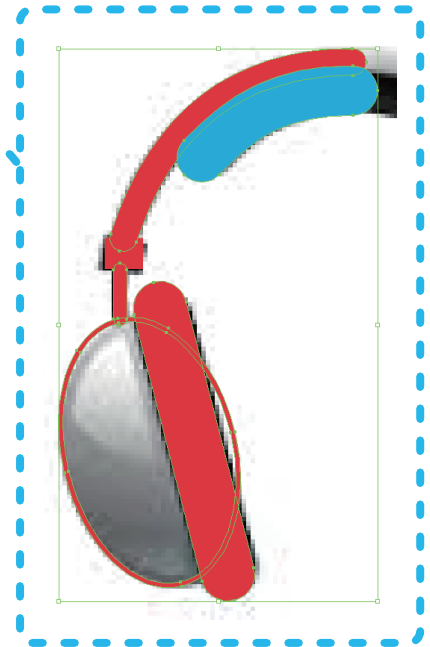
- ③オブジェクトが選んである状態で  
丸型線端を選び、下絵の形に  
合わせる



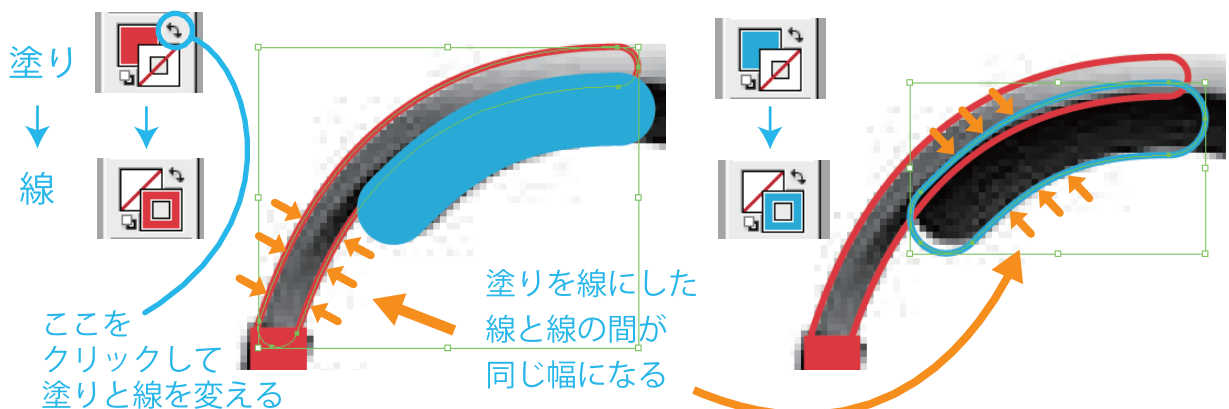
- ④選択ツールですべてを選んでから  
「オブジェクト」→「パス」→  
「パスのアウトライン」で  
パスのアウトライン化をする



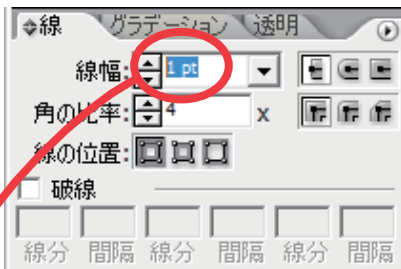
※アウトライン化とは、  
塗りの状態に  
することをいう



- ⑤選択ツール (□) でひとつずつオブジェクトを選び  
塗りを線にもどし、線と線の間の幅を同じにする

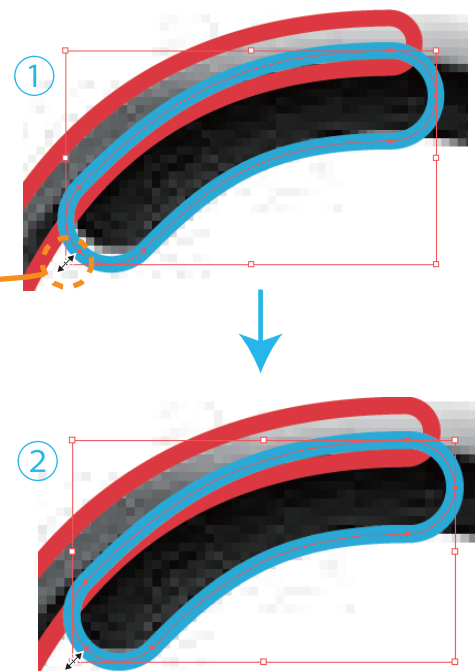


⑥線の太さを2 pt と  
1.5 pt くらいにする



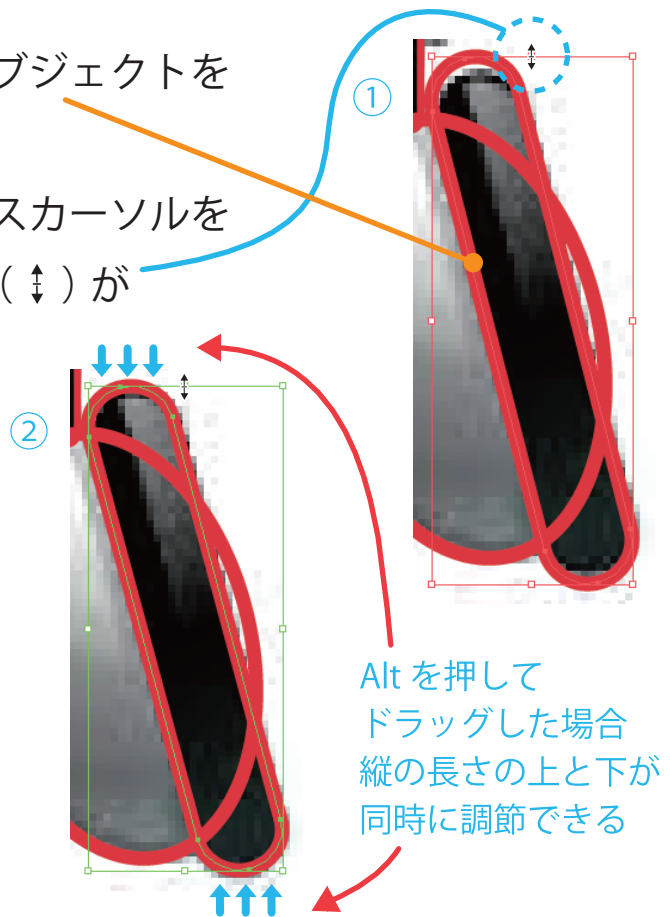
1.5 pt を線幅: に直接入力するには  
ここをクリックして青色に反転させ  
Delete(Del) キーを押して数字を削除し  
テンキー (10 キー) から 1.5 と入力して Enter キーを押す

⑦選択ツール (☒) でオブジェクトを選び、  
オブジェクトのまわりの四角の枠の  
左下にマウスカーソルをあわせると  
このマーク (↖) が表示される (①)  
Shift を押しながら  
縦横比 (縦と横の比率) を  
固定しながらマウスをドラッグして  
オブジェクトの大きさを  
下絵にあわせる (②)



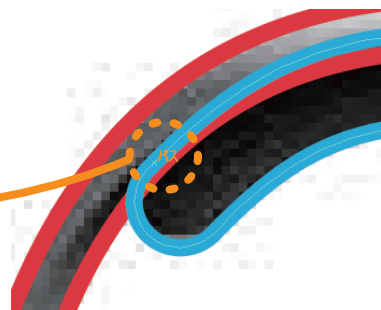
下絵

- ⑧ヘッドフォンの左下のオブジェクトを  
 選択ツール (☒) で選び  
 四角い枠の上中央にマウスカーソルを  
 もっていき、このマーク (↕) が  
 表示されたら (①)  
 Alt を押しながら  
 横の長さを固定し  
 マウスをドラッグして  
 縦の長さを調節し  
 下絵にあわせる (②)

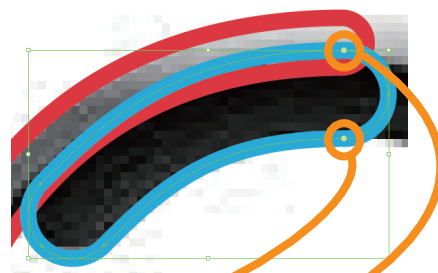


- ⑨次に、ヘッドフォンが左右対称に  
 なるように、リフレクト (反転) させるので  
 中央のつながっている線を切って削除する

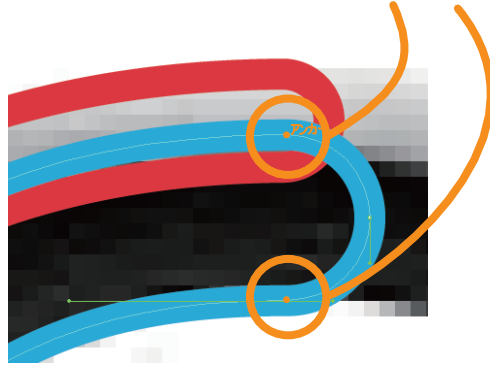
- 1) まず、Ctrl+U でスマートガイドを表示して  
 パスにマウスを合わせると  
 情報が表示されるようにする



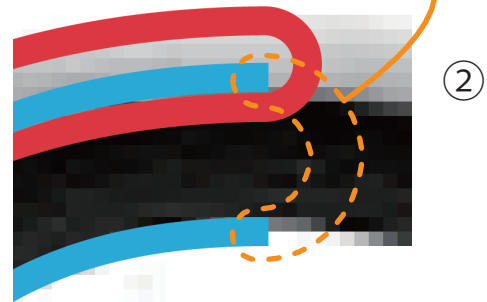
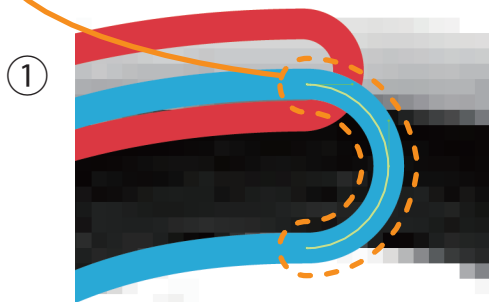
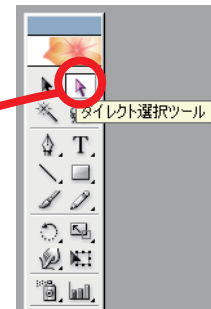
- 2) 青色のオブジェクトを  
 選択ツール (☒) で選び  
 中央の点の位置を  
 見えるようにする



- 3) 「はさみツール」を選んで  
マウスを点にあわせて、  
「アンカー」と表示されるところで  
線を切断するために2つの点を切る



- 4) 選択ツール (☒) で  
なにもないところをクリックして  
いったん選択解除してから  
削除するほうの線を  
ダイレクト選択ツールで選び (①)、  
Delete(Del) キーを2回押して 点と線 を削除する (②)



- 5) 同様に赤色の  
オブジェクトも  
線を切って削除する



◆ 線と線の間の幅を同じにする ◆

⑩リフレクト（反転）コピーさせる

- 1) すべてのオブジェクトを  
選択ツールで選んで  
リフレクトツールを選ぶ



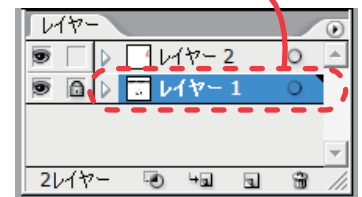
- 2) 反転させる中心をマウスでクリックして  
リフレクトマーク (+) を表示させる

下絵の画像と色が重なった場合、  
リフレクトマークが見えないことがあるが  
リフレクトはきちんとできる



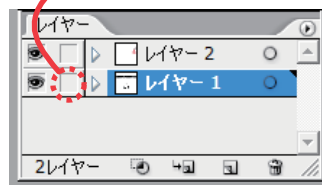
リフレクトマークが見える状態にするには  
レイヤーの透明度を50%にする

- ① レイヤー1をクリックして  
青く反転させる

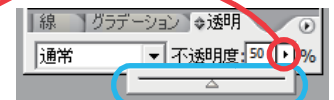


- ③ レイヤー1の右側の○を  
クリックして2重丸(◎)に  
すると、レイヤー1の  
オブジェクトがすべて  
選ばれる

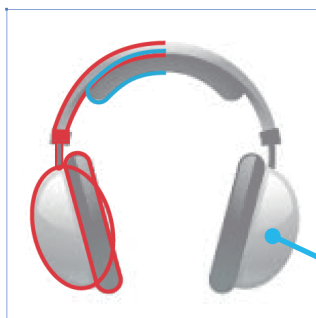
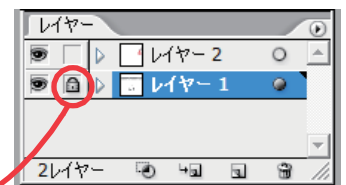
- ② レイヤー1のロックを  
クリックして解除する



- ④ 線パレットの2つ右にある  
透明パレットの右の矢印を  
クリックして下を表示させ  
▲を移動して不透明度を  
50%にする



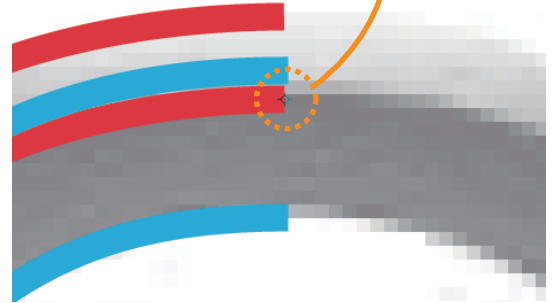
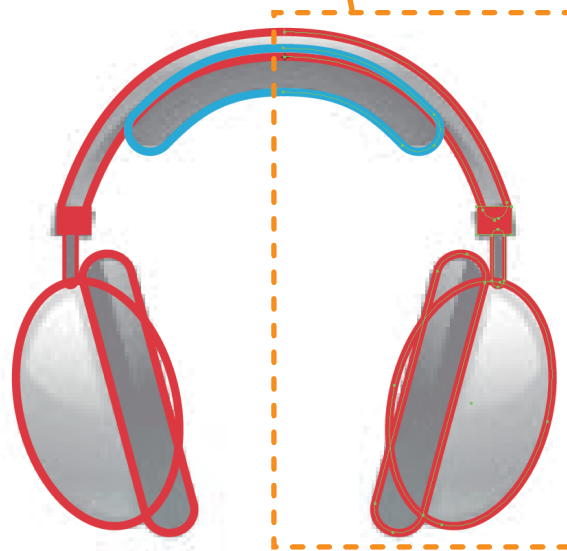
- ⑤ 最後にレイヤー1の  
ロックをクリックして  
もう一度、ロックする



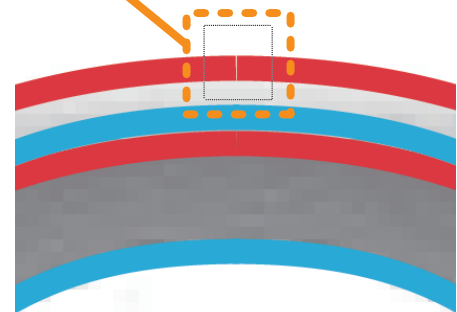
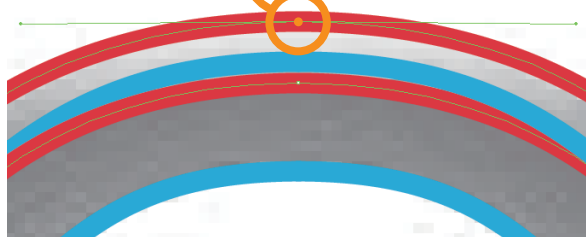
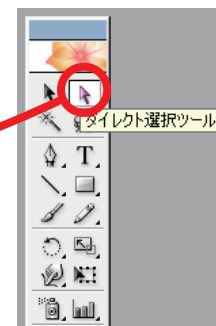
不透明度50%にした下絵

◆ 線と線の間幅を同じにする ◆

- 3) リフレクトマーク (✦) が表示されているのを確認したら  
マウスをドラッグして **Shift** と **Alt** を押しながら  
反対側へ反転コピーさせる



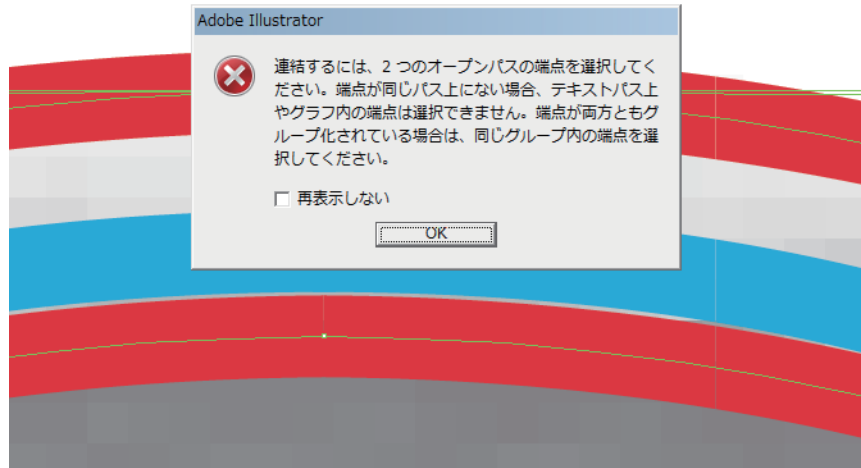
- ⑪ 点と点をつなげるために、まず  
なにもないところをクリックして  
選択解除してから  
2点をダイレクト選択ツールで選び、  
**Ctrl+Shift+Alt+J** を押してつなげる





## ⑫ ここで注意！

2点をつなげるとき、この表示がされた場合の対処法



CS2では、**線の状態**のものを「パスのアウトライン」で  
アウトライン化して**ぬり**の状態にすると、**グループ化**される  
そのため、アウトライン化した**ぬり**を

**選択ツール** (☞) でえらんでから、

「オブジェクト」→「グループ解除」でグループを解除する

グループ解除をすると、**線の状態**にしたとき、

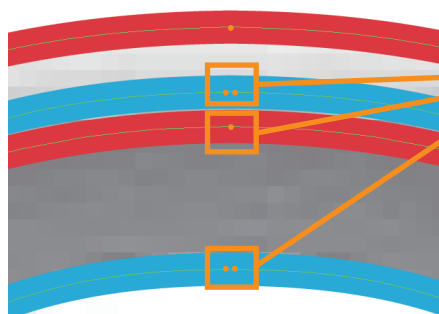
**点と点をつなげれる**ようになる

今回は、**線の状態**にしてあるので、

**線**を**選択ツール** (☞) でえらんでから、グループ解除をする

## ⑬ 点をつなげることができたら

残りの中心にある、はなれている点と点もつなげる



ここがはなれている点と点の位置

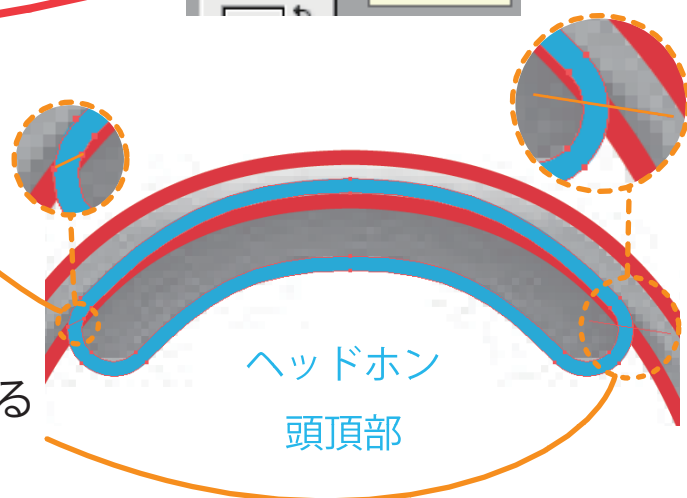
※この中心の点と点は、  
見た目はくっついてるように  
見えても、はなれているので  
つなげる

◆ 線と線の間を同じにする ◆

- ⑭すべてのオブジェクトの線を選択ツール (☒) で選び、もう一度、「オブジェクト」→「パス」→「パスのアウトライン」でアウトライン化する



- ⑮ダイレクト選択ツール (☒) でひとつずつオブジェクトを選んで線が見える状態にしてナイフツールを選んで余分なところをマウスをドラッグして切る  
マウスを押す前から **Alt** を押しているとまっすぐに切ることができる



- ⑩切ったら、なにもないところをクリックして  
選択を解除し、青いオブジェクトの削除するほうを  
ダイレクト選択ツール (☒) で選び直して  
Delete(Del) キーで削除する

①選んで



ヘッドホン  
頭頂部

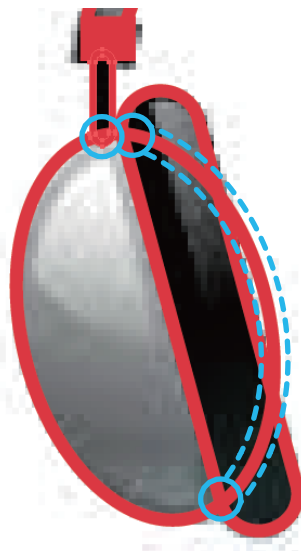
②削除



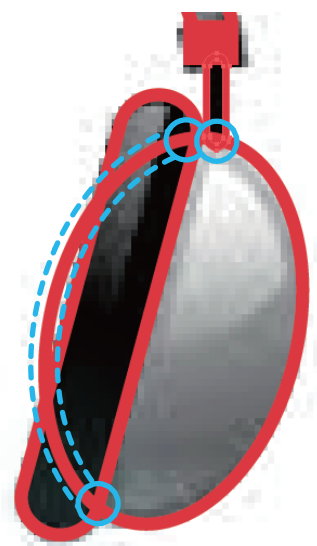
ヘッドホン  
頭頂部

その他の削除するところも  
すべて削除する

①ヘッドホン  
左下側



②ヘッドホン  
右下側

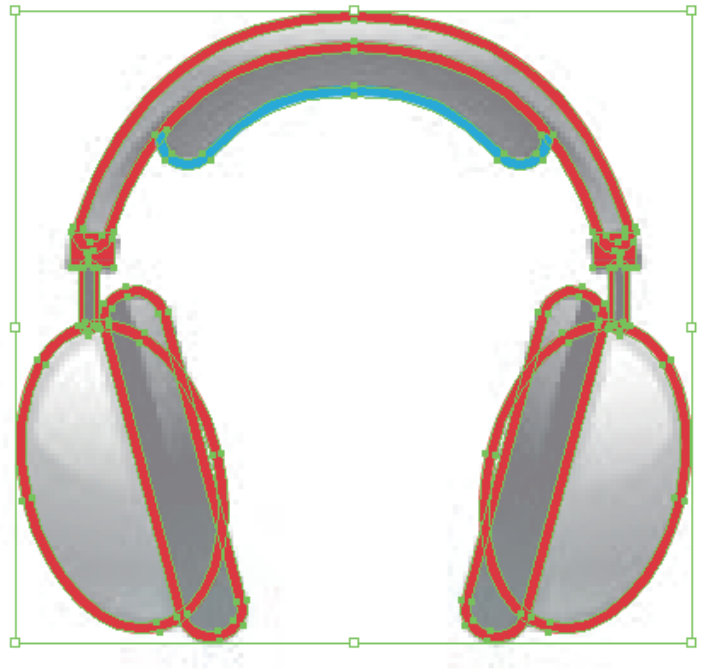
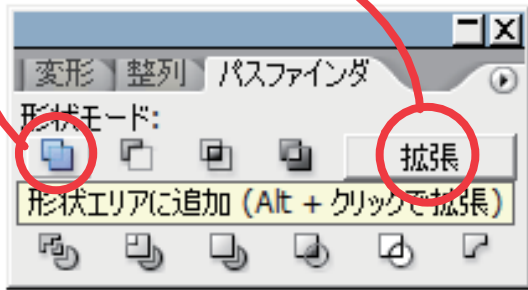


◆ 線と線の間の幅を同じにする ◆

⑰最後に、選択ツール (☒) ですべてのオブジェクトを選んで

「形状エリアに追加」を押して

拡張して合体する



⑱完成！

